

## JP023 日高山脈 (ひだかさんみゃく)

北海道：帯広市、えりも町、様似町、広尾町、大樹町、浦河町、中札内村、芽室町、新ひだか町、清水町、新得町、南富良野町、日高町、平取町、新冠町、占冠村

位置	N 42° 31′ E 142° 50′
面積	395,000ha

### 環境構成【森林／湖沼】

日高山脈は狩勝峠から襟裳岬まで約 140km に及ぶ山系で、最高峰は日高幌尻岳の 2,052m である。

日高山脈下部はミズナラ、イタヤカエデ、カツラなどの広葉樹林帯（標高 500m 以下）、それから上部はこれらの広葉樹にエゾマツ、トドマツを含む針広混交林、さらに上部はダケカンバ帯（標高 1,200～1,300m）となり、山頂部はハイマツ帯（標高 1,400～1,600m）と高山植物群落となっている。



写真：千嶋淳

### 選定理由

A3	-
----	---

### 保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

都道府県指定鳥獣保護区（日勝、歴舟川）、国立公園（日高山脈襟裳国立公園）、自然環境保全地域、保護林

### 保全への脅威

- ・砂防ダム工事と工事に伴う作業用道路開削による川沿いの森林伐採
- ・林道新設に伴う森林伐採
- ・登山者増加に伴うゴミ投棄及び排泄物増加

## 見られる鳥

高山帯にはカヤクグリ、ホシガラスなど、亜高山帯のダケカンバ帯から針広混交林にかけてはルリビタキ、ウソ、サメビタキ、マミジロ、エゾライチョウ、クマゲラ、クロジ、コマドリなど。低山帯の広葉樹林帯ではセンダイムシクイ、コルリ、キビタキ、オオルリなどが生息し、シノリガモのヒナも確認されている。

留鳥	エゾライチョウ、クマタカ、オオタカ、フクロウ、クマゲラ、アカゲラ、オオアカゲラ、ヤマゲラ、コゲラ、ヒヨドリ、キクイタダキ、シジュウカラ、ハシブトガラ、エナガ、ゴジュウカラ、キバシリ、カワガラス、ミソサザイ、カケス、ホシガラス
夏鳥	オシドリ、シノリガモ、ハイタカ、ツミ、ヤマシギ、イソシギ、イカルチドリ、キジバト、アオバト、ツツドリ、ジュウイチ、コノハズク、ヨタカ、ヤマセミ、イワツバメ、キセキレイ、カヤクグリ、ノゴマ、コルリ、コマドリ、ルリビタキ、マミジロ、アカハラ、クロツグミ、トラツグミ、ウグイス、ヤブサメ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、サメビタキ、コサメビタキ、アオジ、クロジ、カワラヒワ、ベニマシコ、ウソ、ギンザンマシコ、イカル
冬鳥	ツグミ、カシラダカ、アトリ
旅鳥	メボソムシクイ、マミチャジナイ



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermop, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community